

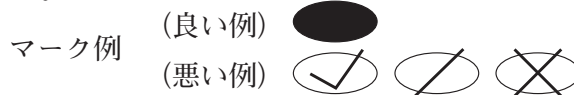
平成31年度高知県公立学校教員採用候補者選考審査
筆記審査（専門教養）

特別支援学校 中学部・高等部 商業

受審番号		氏 名	
------	--	-----	--

【注意事項】

- 1 審査開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見ないでください。
- 2 解答用紙（マークシート）は2枚あります。切り離さないでください。
- 3 解答用紙（マークシート）は、2枚それぞれに下記に従って記入してください。
○ 記入は、HBの鉛筆を使用し、該当する○の枠からはみ出さないよう丁寧にマークしてください。



- 訂正する場合は、消しゴムで完全に消してください。
- 氏名、受審する教科・科目、受審種別、受審番号を、該当する欄に記入してください。

また、併せて、右の例に従って、受審番号をマークしてください。

受 審 番 号				
万	千	百	十	一
1	2	3	4	5
○0	○0	○0	○0	○0
●	○1	○1	○1	○1
○2	●	○2	○2	○2
○3	○3	●	○3	○3
○4	○4	○4	●	○4
○5	○5	○5	○5	●

記入例

(受審番号12345の場合)

- ※ 正しくマーク（正しい選択問題への解答及びマーク）していないと、正確に採点されませんので、注意してください。

- 4 解答は、解答用紙（マークシート）の解答欄をマークしてください。解答については、本冊子の裏表紙の＜解答上の注意＞をお読みください。ただし、問題冊子は開かないでください。



第1問 次のマーケティング・ビジネス経済分野についての問いに答えなさい。

1 次の(1)・(2)の問いに答えなさい。

(1) 次の文は、雇用にとまなう企業責任について述べたものである。[ア]～[ウ]に該当する語句として正しいものを、下のa～dから一つずつ選びなさい。

従業員一人あたりの労働時間を減らし、他の従業員の雇用を維持したり、雇用を増やしたりする取組を[ア]と呼ぶ。

また、給料や賞与とは別に、企業が従業員やその家族に利益や満足をもたらすために行う制度を[イ]と呼ぶ。

日本の社会保険制度として、法律で義務づけられているものに、[ウ]などがある。

[ア] a ワークシェアリング b 健康増進法
c SCM d リードタイム

[イ] a CSR b 労働者財産法
c BOP d 福利厚生

[ウ] a 火災保険 b 公的扶助
c 介護保険 d 生命保険

(2) 次の文は、売買取引について述べたものである。[工]と[オ]に該当する語句として正しいものを、下のa～dから一つずつ選びなさい。

売買は商品の販売を希望する売り手と、その購入を希望する買い手とが売買契約を結ぶことによって進められる。このように、一方の申し込みに対して、相手方がそれを承諾することによって成立した売買契約を実行することを売買契約の[工]という。

企業間の売買契約では、商品の品質、数量、価格などの売買条件を取り決めるが、商品の販売価格では、「小麦1袋につき何円」というように、価格を示す基準となるような商品の一定数量を[オ]と呼ぶ。

[工] a 更改 b 履行 c 締結 d 供託

[オ] a 度量衡 b 建値 c 諸掛 d 建

2 マーケティングについて (1) ~ (3) の問いに答えなさい。

(1) オーダリーマーケティングに関する説明として正しいものを、次の a ~ d から一つ選びなさい。

- a SNSなどで見込み顧客を見つけてもらい、自社やその商品・サービスに興味をもってもらえるように仕掛けるマーケティングの手法。
- b 顧客一人ひとりの深い理解に基づく企業と顧客の長期的かつ良好な関係を形成するマーケティングの手法。
- c 周囲の人々の混乱やとまどいに配慮し、一定の秩序をもって展開されるマーケティングの手法。
- d 利益の獲得を主な目的としない教育機関や、国や地方自治体などのマーケティング機能。

(2) 次の文は、エンゲルの法則について述べたものである。 に該当する語句として正しいものを、下の a ~ d から一つ選びなさい。

統計学者のエンゲルは家計所得の上昇が、所得に対する食料費支出比率を させる法則を提唱した。

- a 上昇 b 維持 c 微増 d 低下

(3) マーケティング・ミックスで用いられている 4P の各要素の組み合わせとして正しいものを、次の a ~ d から一つ選びなさい。

- a 製品 - 販売 - 標的 - 広告
- b 製品 - 価格 - 販売 - 流通
- c 企画 - 価格 - 販売 - プロモーション
- d 製品 - 価格 - 流通 - プロモーション

- 3 次の文は、広告と販売促進について述べたものである。[ケ]～[シ]に該当する語句として正しいものを、下のa～dから一つずつ選びなさい。

企業は、自社の商品やサービスを周知するために告知活動を行う。広告の指標として、ターゲットとなる顧客が1回でも広告を見たという到達度や、一人が平均何回広告を見たかを示す接触回数がある。この一人が平均何回広告を見たかという接触回数を[ケ]と呼ぶ。また、具体的に広告を依頼するメディアを決定する必要があるが、広告を依頼するテレビ局や新聞社の具体的な銘柄を[コ]と呼ぶ。なお、自社の商品を新聞の記事やテレビ番組で取り上げてもらうための情報提供を[サ]と呼ぶ。

自社の商品やサービスの販売促進のために、顧客の幅広い情報を持つ必要がある。性別や年齢、所得水準やライフスタイル等の情報により、顧客の好みやニーズを推測できる。また、過去の購買履歴を記録しておくことで、TPOに応じた商品の提案も可能になる。このTPOのOは[シ]の頭文字をとったものである。

- [ケ] a フリクエンシー b メセナ c アフィリエイト
d メディアミックス

- [コ] a データマイニング b ノベルティ c ビークル
d マーチャンダイジング

- [サ] a マーチャント b パブリシテイ c プライバシーマーク
d リファラー

- [シ] a Observation b Obsession c Opposite d Occasion

- 4 次の文は、様々な権利について述べたものである。[ス]に該当する語句として正しいものを、下のa～dから一つ選びなさい。

物権や債権などの経済的な利益を内容とする権利を財産権と呼ぶ。物権とは、ある一定の物を他人からの影響や干渉を排除して直接支配できる権利である。[ス]は民法に定められている物権の中の一つである。

- a 受益権 b 著作権 c 株主権 d 留置権

5 次のビジネス計算について、(1)・(2)の問いに答えなさい。

(1) 割引率15%、2年後に¥600,000のキャッシュ・フローを生み出す資産の現在価値はいくらになるか、次のa～dから一つ選びなさい。(円未満切り捨て)

a ¥453,682 b ¥453,684 c ¥453,686 d ¥453,688

(2) 仕入原価¥400,000の商品に仕入原価の32%の利益を見込んで予定価格をつけ、予定価格の3割引で販売した。損失率を次のa～dから一つ選びなさい。

a 7.2% b 7.4% c 7.6% d 7.8%

第2問 会計分野についての問いに答えなさい。

1 次の(1)～(3)の問いに答えなさい。

(1) 次の一連の取引について、高知商店の仕訳で正しい組み合わせを、下のa～eから一つ選びなさい。(税抜方式)

- 1 商品¥100,000を仕入れ、代金はその消費税¥8,000とともに掛けとした。
- 2 上の商品を¥120,000で売り上げ、代金はその消費税¥9,600とともに掛けとした。
- 3 期末に納付する消費税額¥1,600を計上した。
- 4 消費税額¥1,600を現金で納付した。

		借 方		貸 方	
1	①	仕 入	100,000	買 掛 金	108,000
		仮 払 消 費 税	8,000		
	②	仕 入	108,000	買 掛 金	108,000
	③	仕 入	100,000	買 掛 金	108,000
		消 費 税	8,000		
2	①	売 掛 金	129,600	売 上	120,000
				消 費 税	9,600
	②	売 掛 金	129,600	売 上	129,600
	③	売 掛 金	129,600	売 上	120,000
				仮 受 消 費 税	9,600
3	①	租 税 公 課	1,600	未 払 消 費 税	1,600
		仮 受 消 費 税	9,600	仮 払 消 費 税	8,000
	②			未 払 消 費 税	1,600
	③	租 税 公 課	9,600	未 払 消 費 税	9,600
4	①	仮 払 消 費 税	1,600	現 金	1,600
	②	現 金	1,600	未 払 消 費 税	1,600
	③	未 払 消 費 税	1,600	現 金	1,600

- | | 1 | 2 | 3 | 4 | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| a | ① | - | ③ | - | ③ | - | ① |
| b | ② | - | ② | - | ① | - | ② |
| c | ③ | - | ① | - | ② | - | ② |
| d | ① | - | ③ | - | ② | - | ③ |
| e | ② | - | ② | - | ① | - | ③ |

(2) 次の一連の取引について高知商店の仕訳で正しい組み合わせを、下の a ~ e から一つ選びなさい。

9月30日

決算年1回の高知商店は、法人税・住民税の中間申告をおこない、法人税額¥500,000、住民税額¥100,000を現金で納付した。

3月1日

決算にあたり、当期の法人税¥950,000、住民税¥170,000を計上した。

5月15日

確定申告をおこない、中間申告のさいの納付額を差し引き、未払額を現金で支払った。

9月30日	借方		貸方	
①	仮払法人税等	600,000	現金	600,000
②	法人税等	500,000	現金	600,000
	住民税等	100,000		
③	法人税等	600,000	現金	600,000

3月1日	借方		貸方	
①	法人税等	1,120,000	法人税等	600,000
			未払法人税等	520,000
②	法人税等	950,000	未払法人税等	950,000
	住民税等	170,000	未払住民税等	170,000
③	法人税等	1,120,000	仮払法人税等	600,000
			未払法人税等	520,000

5月15日	借方		貸方	
①	未払法人税等	450,000	現金	520,000
	未払住民税等	70,000		
②	未払法人税等	520,000	現金	520,000
③	法人税等	450,000	現金	520,000
	住民税等	70,000		

	9月30日	3月1日	5月15日
a	①	-	③
b	①	-	①
c	②	-	③
d	③	-	①
e	②	-	②

- (3) 次の取引について高知産業株式会社の仕訳として正しいものを，下の a～e から一つ選びなさい。

高知産業株式会社は，会社設立にあたり株式800株を1株¥50,000で発行し，全額の払い込みを受け，払込金は当座預金とした。ただし，払込金額のうち，1株につき¥25,000は資本金に計上しないことにした。また，株式の発行のために要した諸費用¥600,000は小切手を振り出して支払った。

	借 方		貸 方	
a	当 座 預 金	40,000,000	資 本 金	20,000,000
			株 式 払 込 剰 余 金	20,000,000
	株 式 交 付 費	600,000	当 座 預 金	600,000
b	当 座 預 金	40,000,000	資 本 金	20,000,000
			資 本 準 備 金	20,000,000
	創 立 費	600,000	当 座 預 金	600,000
c	当 座 預 金	40,000,000	資 本 金	20,000,000
			株 式 払 込 剰 余 金	20,000,000
	開 業 費	600,000	当 座 預 金	600,000
d	当 座 預 金	40,000,000	資 本 金	20,000,000
			資 本 準 備 金	20,000,000
	株 式 交 付 費	600,000	当 座 預 金	600,000
e	a～dのいずれにも該当しない			

2 次の(1)・(2)の問いに答えなさい。

(1) 次の高知商会の本店及び支店の貸借対照表と未達事項によって、下の①・②について答えなさい。

本店貸借対照表
平成〇年12月31日

資産		金額	負債及び資本		金額			
現	金	43,000	買	掛	金	80,000		
売	掛	85,000	借	入	金	75,000		
商	品	47,000	資	本	金	200,000		
建	物	115,000	当	期	純	利	益	16,000
備	品	25,000						
支	店	56,000						
		371,000			371,000			

支店貸借対照表
平成〇年12月31日

資産		金額	負債及び資本		金額			
現	金	10,500	買	掛	金	32,500		
売	掛	28,000	本		店	38,500		
商	品	20,500	当	期	純	利	益	3,000
備	品	15,000						
		74,000						
		74,000			74,000			

未達事項

- 1 支店から本店に送った現金¥5,000が本店に未達である。
- 2 本店から支店に発送した商品¥6,500(原価)が支店に未達である。
- 3 本店で立替払いした支店の買掛金¥4,000の通知が支店に未達である。
- 4 支店で立替払いした本店の販売費及び一般管理費¥2,000の通知が本店に未達である。

① 本支店合併後の買掛金の金額として正しいものを、次のa～dから一つ選びなさい。

- a ¥116,500 b ¥112,500 c ¥108,500 d ¥36,500

② 本支店合併後の当期純利益の金額として正しいものを、次のa～dから一つ選びなさい。

- a ¥19,000 b ¥17,000 c ¥16,000 d ¥3,000

第3問 ビジネス情報分野についての問いに答えなさい。

1 次の(1)～(4)の説明文に該当するものとして正しいものを、それぞれ下のa～dから一つ選びなさい。

(1) ネットワークに接続されたコンピュータのIPアドレスとドメイン名を対応させるしくみ。

a DNS b SSL c NAT d HTTP

(2) 2進数の10101と、10進数の5の積を表す2進数。

a 1010101 b 1101011 c 1111001 d 1101001

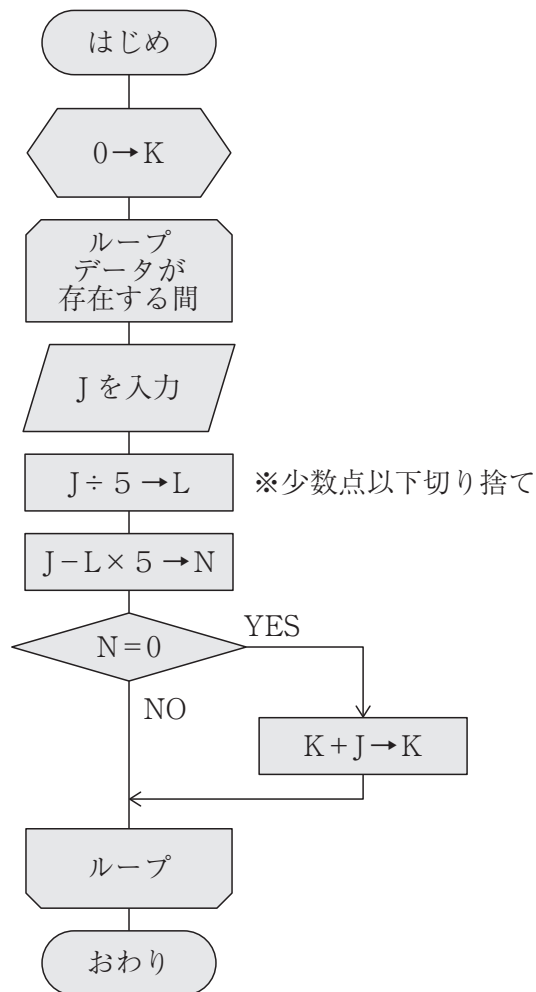
(3) フラッシュメモリ等を集積して作成し、ハードディスクと同様な使い方ができる高速な補助記憶装置。

a NAS b RASIS c SSD d MIPS

(4) 横640×縦480ドット、65,536色で表現する画像のファイルサイズ。ただし、1KB=1,000Bで計算する。

a 614.4KB b 4,915.2KB c 4,687.5KB d 307.2KB

2 次の流れ図にしたがって処理するとき、次の(1)・(2)の問いに答えなさい。ただし、変数Jに、15, 61, 54, 20, 33の順番で、5件のデータを入力するものとする。



(1) 3件目の入力データ、54を入力した後、「 $J - L \times 5 \rightarrow N$ 」を実行したときのNの値を、次のa～cから一つ選びなさい。

a 1 b 4 c 0

(2) 流れ図にしたがって処理を終了したときのKの値を、次のa～cから一つ選びなさい。

- a 入力データJの値を合計した値がKの値となる。
- b 入力データJの値のうち、5の倍数だけを合計した値がKの値となる。
- c 入力データJの値のうち、偶数だけを合計した値がKの値となる。

- 3 次の表は、ある海外旅行ツアー会社の売上分析表である。作成条件にしたがって (1) ~ (5) の問いに答えなさい。

	A	B	C	D	E	F	G
1							
2		海外旅行ツアーの売上分析表					
3							
4	ツアーコード	タイプ名	エリア名	定員充足率(%)	売上高	評価	備考
5	C01EU	シティ滞在型	ヨーロッパ	84.5	¥2,300,000	A	
6	R01AS	リゾート滞在型	アジア	51.6	¥1,800,000	B	
7	S01EU	周遊型	ヨーロッパ	80.0	¥3,951,000	A	○
8	C02AS	シティ滞在型	アジア	58.1	¥2,040,000	B	
9	R02EU	リゾート滞在型	ヨーロッパ	65.5	¥2,430,000	B	
10	S02AS	周遊型	アジア	80.6	¥2,100,000	A	
11	C03EU	シティ滞在型	ヨーロッパ	41.9	¥1,670,000	C	
12	R03AS	リゾート滞在型	アジア	90.3	¥5,100,000	A	○
13	S03EU	周遊型	ヨーロッパ	49.0	¥1,500,000	C	
14	C04AS	シティ滞在型	アジア	77.4	¥3,420,000	B	○
15	R04EU	リゾート滞在型	ヨーロッパ	81.3	¥2,662,000	A	○
16			平均	69.1	¥2,633,909		
17							
18	タイプ別集計表					評価別集計表	
19	タイプコード	C	R	S		評価	ツアー数
20	タイプ名	シティ滞在型	リゾート滞在型	周遊型		A	5
21	売上高合計	¥9,430,000	¥11,992,000	¥7,551,000		B	4
22	平均売上高	¥2,357,500	¥2,998,000	¥2,517,000		C	2
23							
24	エリア別集計表						
25	エリアコード	EU	AS				
26	エリア名	ヨーロッパ	アジア				
27	売上高合計	¥14,513,000	¥14,460,000				
28	平均売上高	¥2,418,833	¥2,892,000				

作成条件

- B列の「タイプ名」は、A列の「ツアーコード」の左端から1文字を抽出し、タイプ別集計表を参照して表示する。
- C列の「エリア名」は、A列の「ツアーコード」の右端から2文字を抽出し、エリア別集計表を参照して表示する。
- F列の「評価」は、D列の「定員充足率」が80%以上の場合はA、50%以上80%未満の場合はB、50%未満の場合はCと表示する。
- G列の「備考」は、「定員充足率」が定員充足率の平均より大きく、かつ、E列の「売上高」が売上高の平均より大きい場合は○を表示し、それ以外は何も表示しない。
- 「タイプ別集計表」の「売上高合計」は、「タイプ名」ごとの「売上高」の合計を求める。
- 「タイプ別集計表」の「平均売上高」は、「タイプ名」ごとの「売上高」の平均を求める。
- 「エリア別集計表」の「売上高合計」は、「エリア名」ごとの「売上高」の合計を求める。
- 「エリア別集計表」の「平均売上高」は、「エリア名」ごとの「売上高」の平均を求める。
- 「評価別集計表」の「ツアー数」は、「評価」ごとにツアーの件数を求める。

(1) B5に設定する式として適切なものを、次の a～c から一つ選びなさい。ただし、B5に設定する式をB6～B15にコピーするものとする。

- a = HLOOKUP(LEFT(A5,1),\$A19:\$D22,2,FALSE)
- b = HLOOKUP(LEFT(A5,1),\$B19:\$D20,2,FALSE)
- c = HLOOKUP(LEFT(A5,1),B\$19:D\$20,2,FALSE)

(2) F5に設定する式として適切なものを、次の a～c から一つ選びなさい。ただし、F5に設定する式をF6～F15にコピーするものとする。

- a = IF(\$D\$5 >= 80,"A",IF(D5 >= 50,"B","C"))
- b = IF(D5 >= 80,"A",IF(D5 >= 50,"B","C"))
- c = IF(D5 >= 80,"A",IF(D5 >= 50,"C","B"))

(3) G5に設定する式として適切なものを、次の a～c から一つ選びなさい。ただし、G5に設定する式をG6～G15にコピーするものとする。

- a = IF(AND(D5 > \$D\$16, E5 > \$E\$16),"○","")
- b = IF(AND(\$D\$5 > \$D\$16, \$E\$15 > \$E\$16),"○","")
- c = IF(OR(D5 > \$D\$16, E5 > \$E\$16),"○","")

(4) B21に設定する式として適切なものを、次の a～c から一つ選びなさい。ただし、B21に設定する式をC21～D21にコピーするものとする。

- a = SUMIF(\$B\$5:\$B\$15,B20,E5:E15)
- b = SUMIF(\$B\$5:\$B\$15,\$B\$20,\$E\$5:\$E\$15)
- c = SUMIF(\$B\$5:\$B\$15,B20,\$E\$5:\$E\$15)

(5) G20に設定する式として適切なものを、次の a～c から一つ選びなさい。ただし、G20に設定する式をG21～G22にコピーするものとする。

- a = COUNTIF(F20,\$F\$5:\$F\$15)
- b = COUNTIF(\$F\$5:\$F\$15,F20)
- c = COUNTIF(F20,F5:F15)

4 次の表は表計算ソフトで作成したものである。次の (1)・(2) の問いに答えなさい。

- (1) 次の表は50m走の記録表である。C列の順位はB列の「記録」の速い順に順位をつける。C4に設定する式として適切なものを、下の a～c から一つ選びなさい。ただし、C4に設定する式をC5～C9にコピーするものとする。

	A	B	C
1			
2	50m 走の記録表		
3	選手名	記録	順位
4	会田 ○○	13.25	
5	北村 ○○	11.25	
6	本田 ○○	12.68	
7	染井 ○○	12.98	
8	大村 ○○	10.98	
9	武井 ○○	10.28	

- a = RANK(B4,\$B\$4:\$B\$9,1)
 b = RANK(B4,\$B\$4:\$B\$9)
 c = RANK(B4,\$B\$4:\$B\$9,0)

- (2) 次の表は、指定された年月日が月曜日から金曜日までなら「平日」、土曜日と日曜日なら「土日」と判別表示する表である。

	A	B	C	D	E
1					
2	平日・土日判別表				
3	年	月	日	返り値	判別
4	2017	12	31	1	土日
5	2018	7	21	7	土日
6	2019	1	1	3	平日
7	2019	4	30	3	平日
8	2019	5	1	4	平日

- ① D列の「返り値」は、A列の年、B列の月、C列の日を基に、日曜日なら1、月曜日なら2、…土曜日なら7のように、曜日を示す値を求める。D4に設定する式として適切なものを、次の a～c から一つ選びなさい。

- a = WEEKDAY(DATE(A4,B4,C4))
 b = WEEKDAY(A4,B4,C4)
 c = WEEKDAY(DATE(C4,B4,A4))

- ② E列の「判別」は、D列の「返り値」から、月曜日から金曜日までなら「平日」、土曜日か日曜日なら「土日」と表示する。E4に設定する式として適切なものを、次のa～cから一つ選びなさい。

a =IF(AND(D4>=2,D4<=6),"土日","平日")

b =IF(AND(D4>2,D4<6),"土日","平日")

c =IF(AND(D4>=2,D4<=6),"平日","土日")

- 5 ある学校では、以下のようなリレーショナルデータベースを利用して生徒の成績を管理している。項目名のうち、学籍コードは主キーを表す。このデータベースを基に、国語の成績が70点以上の生徒を抽出し、「クラス」、「氏名」、「性別」、「国語」の4つの項目で一覧表示するためのSQL文の に該当するものとして適切なものを、下のa～cから一つ選びなさい。ただし、国語の成績が高い順にデータを並べ替えて表示する。

生徒表				成績表		
学籍コード	クラス	氏名	性別	学籍コード	国語	数学
1101	1A	会田 ○○	女	1101	98	89
1102	1B	井上 ○○	男	1102	56	70
1103	1C	内田 ○○	女	1103	65	66
1104	2A	塩見 ○○	男	1104	40	45
1105	2B	渡邊 ○○	女	1105	81	85
1106	2C	北村 ○○	男	1106	56	65

```
SELECT クラス, 氏名, 性別, 国語
FROM 生徒表, 成績表
WHERE 生徒表, 学籍コード = 成績表, 学籍コード

```

a AND 国語 >= 70 ORDER BY 国語 DESC

b AND 国語 >= 70 ORDER BY 国語 ASC

c OR 国語 >= 70 ORDER BY 国語 DESC

第4問 学習指導要領についての問いに答えなさい。

1 次の文は、「平成22年5月 高等学校学習指導要領解説 商業編」の各科目の目標や内容、その取扱いに関するものである。次の(1)～(3)の問いに答えなさい。

(1) 次の文は、総合実践の内容とその取扱いに関するものである。(①)・(②)に該当する正しい語句の組み合わせを、下のa～dから一つ選びなさい。ただし、(※)は解答不要である。

この科目は、(1) (①), (2) (※), (3) 会計に関する実践, (4) (※), (5) 分野横断的・総合的な実践の5項目で構成しており、(②)単位程度履修されることを想定して、内容を構成している。

指導に当たっては、各分野の特色に応じた実践を通して、各分野の学習内容を総合的に応用できるようにすること。

- | | | |
|---|-----------------|-------|
| a | ① マーケティングに関する実践 | ② 2～4 |
| b | ① ビジネス経済に関する実践 | ② 3～4 |
| c | ① ビジネス実務に関する実践 | ② 2～4 |
| d | ① ビジネス情報に関する実践 | ② 3～4 |

(2) 次の文は、経済活動と法の内容とその取扱いに関するものである。(①)・(②)に該当する正しい語句の組み合わせを、下のa～dから一つ選びなさい。ただし、(※)は解答不要である。

この科目は、(1) (①), (2) 権利・義務と財産権, (3) (※), (4) 会社に関する法, (5) (※)の5項目で構成しており、(②)単位程度履修されることを想定して、内容を構成している。

指導に当たっては、企業の経済活動について具体的な事例を取り上げ、課題を発見させるとともに、法的に思考し判断して行動できるようにすること。

- | | | |
|---|-----------|-------|
| a | ① 労働と法 | ② 2～4 |
| b | ① 取引に関する法 | ② 3～4 |
| c | ① 経済社会と法 | ② 2～4 |
| d | ① 企業の責任と法 | ② 3～4 |

- (3) 次の文は、財務会計Ⅰの目標、内容とその取扱いに関するものである。(①)・(②)に該当する正しい語句の組み合わせを、下のa～dから一つ選びなさい。ただし、(※)は解答不要である。 ウ

この科目の目標は、「(①)の作成に関する知識と技術を習得させ、(②)の意義や制度について理解させるとともに、会計情報を提供し、活用する能力と態度を育てる。」ことである。

指導に当たっては、(※)に関する法規や基準の変更に留意し、企業の経営成績や財政状態を把握し、ビジネスの諸活動に活用する知識と技術を習得させること。

- | | | |
|---|----------|--------|
| a | ① 連結財務諸表 | ② 財務会計 |
| b | ① 連結財務諸表 | ② 企業会計 |
| c | ① 財務諸表 | ② 企業会計 |
| d | ① 財務諸表 | ② 財務会計 |

第5問

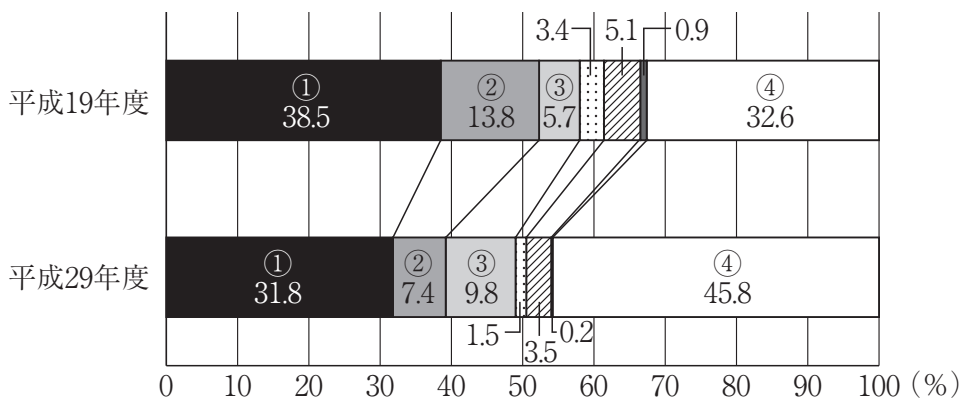
- 1 次の文は、平成30年2月2日 心のバリアフリー学習推進会議より報告された「学校における交流及び共同学習の推進について～「心のバリアフリー」の実現に向けて～」の一部である。文中の ～ に該当する語句を、それぞれ下の a～d から一つ選びなさい。

(1) 交流及び共同学習に関する基本的な考え方

- 幼稚園、小学校、中学校、義務教育学校、高等学校及び中等教育学校（以下「小・中学校等」という。）並びに特別支援学校が行う、障害のある児童生徒等と障害のない児童生徒等の交流及び共同学習は、障害のある児童生徒等にとっても、障害のない児童生徒等にとっても、経験を深め、社会性を養い、豊かな人間性を育むとともに、お互いを し合う大切さを学ぶ機会となるなど、大きな意義を有する。
- このような交流及び共同学習は、学校卒業後においても、障害のある児童生徒等にとっては、様々な人々と共に助け合い支え合って生きていく力となり、積極的な につながるとともに、障害のない児童生徒等にとっては、障害のある人に自然に言葉をかけて手助けをしたり、障害のある人に対する支援を行う場に積極的に参加したりする行動や、人々の を理解し、障害のある人と共に支え合う意識の醸成につながり、さらに、児童生徒等の成長を通じてその の意識の向上も促すなど、社会における「心のバリアフリー」の実現に資するものである。

- | | | | | |
|--------------------------------|-------------|--------|--------|------|
| <input type="text" value="ア"/> | a 理解 | b 尊重 | c 尊敬 | d 注目 |
| <input type="text" value="イ"/> | a コミュニケーション | b 就労 | c 社会参加 | |
| | d 生活態度 | | | |
| <input type="text" value="ウ"/> | a 多様な在り方 | b 障害特性 | c 長所短所 | |
| | d 基本的人権 | | | |
| <input type="text" value="エ"/> | a 支援者 | b 保護者 | c 教職員 | |
| | d 関係者 | | | |

2 次のグラフは「平成29年度 高知県の特別支援教育資料」の「5 年度別特別支援学級数」をもとに、平成19年度と平成29年度の障害種別の設置状況割合を示したものである。①～④に該当する障害種について適切な組み合わせを、下のa～dから一つ選びなさい。 オ



- a ① 自閉症・情緒障害 ② 肢体不自由 ③ 病弱・身体虚弱
 ④ 知的障害
- b ① 知的障害 ② 肢体不自由 ③ 病弱・身体虚弱
 ④ 自閉症・情緒障害
- c ① 自閉症・情緒障害 ② 肢体不自由 ③ 病弱・身体虚弱
 ④ 聴覚障害
- d ① 聴覚障害 ② 肢体不自由 ③ 病弱・身体虚弱
 ④ 知的障害

- 3 次の文は、文部科学省の「学校教育法施行規則の一部を改正する省令等の公布について（通知）（平成28年12月9日）」の「Ⅲ 留意事項 第1 高等学校における通級による指導の制度化関係 2 実施形態について」の一部である。文中の（ア）～（ウ）に該当する障害種について適切な組み合わせを、下のa～dから一つ選びなさい。

カ

通級による指導の実態形態としては、①生徒が在学する学校において指導を受ける「（ア）」、②他の学校に週に何単位時間か定期的に通級し、指導を受ける「（イ）」、③通級による指導の担当教員が該当する生徒がいる学校に赴き、又は複数の学校を巡回して指導を行う「（ウ）」が考えられる。実施に当たっては、対象になる生徒の人数と指導の教育的効果との関係性、生徒や保護者にとっての心理的な抵抗感・通学の負担・学校との相談の利便性、通級による指導の担当教員と通常の授業の担任教員との連絡調整の利便性等を総合的に勘案し、各学校や地域の実態を踏まえて効果的な形態を選択すること。

- | | | | | | | |
|---|---|--------|---|------|---|------|
| a | ア | 自校学習 | イ | 他校学習 | ウ | 巡回相談 |
| b | ア | 自校通級 | イ | 他校通級 | ウ | 巡回指導 |
| c | ア | 個別学習 | イ | 定期通級 | ウ | 巡回学習 |
| d | ア | 特別支援学級 | イ | 他校通級 | ウ | 巡回相談 |



<解答上の注意>

出題内容により解答方式が異なります。問題の「ア」, 「イウ」などには, 数字 (0~9), 小数点 (.), 符号 (−, ±), 又は文字 (a, b, c, d, e) が入ります。解答欄のア, イ, ウ, …のそれぞれが, これらのいずれかに対応します。下の (例1) ~ (例4) に従って解答欄をマークしてください。

(例1) 「アイ」に 12 と答えたい場合

ア イ	(a) (b) (c) (d) (e)	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	.	−	±
	(a) (b) (c) (d) (e)	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	.	−	±

(例2) 「ウ」に b と答えたい場合

ウ	(a) (b) (c) (d) (e)	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	.	−	±
---	---------------------	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

(例3) 「エオ」, 「カキ」に 34.56 と答えたい場合

エ オ カ キ	(a) (b) (c) (d) (e)	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	.	−	±
	(a) (b) (c) (d) (e)	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	.	−	±
	(a) (b) (c) (d) (e)	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	.	−	±
	(a) (b) (c) (d) (e)	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	.	−	±

(例4) 「クケ」に 7 と答えたい場合

ク ケ	(a) (b) (c) (d) (e)	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	.	−	±
	(a) (b) (c) (d) (e)	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	.	−	±

なお、一つの解答欄に対して、二つ以上マークしないでください。

5 筆記審査 (専門教養) が終了した後, 解答用紙 (マークシート) のみ回収します。監督者から指示があれば, この問題冊子を, 各自, 持ち帰ってください。

